

平成25年度・知的財産講演会

日時 平成25年12月13日(金) 14:00~16:00
会場 新居浜高専 視聴覚教室

演題 『モノづくり企業を活性化する4つの秘訣
~ネジザウルスGTの開発から得られた「MPDP」』

高崎 充弘 氏
(株)エンジニア 代表取締役社長

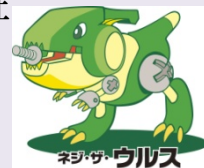


ご略歴

1955年 神戸市生まれ
1977年 東京大学工学部卒業後、三井造船(株)入社
ディーゼルエンジン技師として10年間勤務
1983年 米国レンスラー工科大学(RPI) 修士課程卒業
1987年 家業を継ぐ形で双葉工具株式会社(現 エンジニア)入社
2004年 株式会社エンジニア 代表取締役社長就任

主な受賞歴

2009年 グッドデザイン賞
2010年 大阪ものづくり優良企業賞・近畿地方発明表彰「大阪府知事賞」
2011年 iF product design award・中小企業優秀新技術・新製品賞・
全国発明表彰「日本商工会議所会頭発明賞」
2012年 文部科学大臣賞「科学技術賞」(技術部門)
知財功労賞「特許庁長官賞」
2013年 黄綬褒章受章



◎ 参加ご希望の方は、裏面の申込書によりお申し込みください。なお、参加料は無料です。

■□お問い合わせ□■

新居浜高専 総務課総務企画係

TEL: 0897-37-7703、7706 FAX: 0897-37-7842

E-mail: tiren-c@off.niihama-nct.ac.jp



技術で羽ばたけ
世界へ未来へ
~新居浜高専~

主催: 新居浜高専

共催: (公財)えひめ東予産業創造センター、新居浜商工会議所、愛テクフォーラム

後援: 新居浜市、(公財)えひめ産業振興財団、フロンティア企業クラブ

講演概要

未曾有の大震災を経験した我々日本人は、これからの10年、20年どの方向に進んでゆけばいいのでしょうか？ 石油もレアメタルもない資源小国の日本が今後生き残って行く為には、付加価値の高い商品を開発、製造して、世界に販売してゆく、モノづくり立国日本の再生しかないと思います。サムソンやLGなどは苦戦する日本の家電メーカーを尻目に躍進を続けています。しかし韓国には日本の大企業を支えてきたような優秀な中小企業群がありません。これが彼らにとっての最大の弱点であり、日本の唯一残された希望の星であると思います。しかしながら、東大阪などにも集積している中小、零細企業では受注が先細りし、後継者も見つからず、高齢の熟練技術者が数名で黙々と作業をしています。手先の器用さ、きめ細かさ、勤勉さなど、素晴らしい資質を持ったモノづくり中小企業が根腐れしかかかっており、このままでは数年以内に壊滅してしまいます。

かつて、ドイツと日本は東西のモノづくりの両大国と言われた時代がありました。しかし、ドイツは外貨を稼いでいる7割が中堅・中小企業です。それぞれの分野でキラリとオンリーワン企業がたくさんあります。一方日本では、大企業、しかも自動車・電機・機械・鉄鋼という4業種が9割を稼いでいます「した・・・」と過去形で言わなければならないかもしれません。

日本の優秀なモノづくり中堅・中小企業が、下請けや孫請けとして大企業に依存するのではなく、独自の製品を開発しドイツのように世界企業になって欲しいと思います。そのような産業構造に転換出来れば、日本の強みが100%発揮できると考えています。

そこで私は「MPDP理論」というモノづくり企業を活性化する4つの要素を提唱しています。2009年に弊社が開発したネジザウルスGTという製品はそれまでのネジザウルスシリーズに比べて5倍以上の大ヒット商品となりました。このヒットの要因を詳細に分析した結果得られたのが、M(マーケティング)、P(パテント)、D(デザイン)、P(プロモーション)という4つの要素の存在でした。これらMPDPが融合した時に、大ヒット商品が誕生すると確信しました。日本のものづくり企業を活性化する4つのKSFと考えています。

新居浜高専知的財産講演会参加申込書

会社・役職名等	氏名

【送信先】

新居浜高専 総務課総務企画係
(FAX: 0897-37-7842)

アクセス

- ◆ JR新居浜駅から 1.6km
 - ・バス 約3分(新居浜高専前バス停車)
 - ・徒歩 約20分

